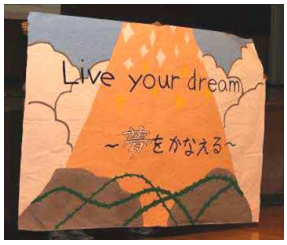
空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

奈井江町立奈井江中学校

生徒会が主体となって取り組む「全校いじめ STOP 集会」

〈 取組概要 〉



○　今年で４年目となる生徒会執行部企画の「全校いじめSTOP集会」を11月15日に開催しました。今年度のテーマは【SNSの危険な使い方】です。集会を通して、今後目指したい奈井江中学校の姿として、「一人一人が夢や目標の実現に近づけるよう大切にされること」を全校生徒で確認し、生徒からのアイディアを基に今年のスローガンを決定しました。

〈 具体的な取組内容 〉

1　生徒会執行部企画による事前アンケート調査と結果に基づいた問題提起で意見交流

「SNS のよさ、怖さや課題は？」「SNS でのコミュニケーションと、実際に顔を見たコミュニケーションにはどんな違いがある？」「なぜ、SNS でいやな思いをさせることをしてしまう人がいるのか」など、アンケート結果の分析資料とともに、学校生活場面を題材としたショートムービーで問題提起を行い、タブレット等を使って一人一人意見や思いを発表し合いました。

2　今年のスローガン『Live your dream～夢をかなえる～』が決定

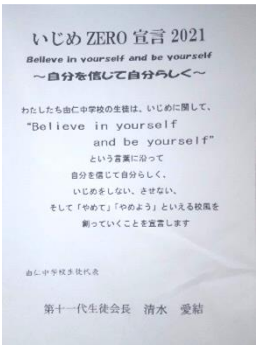
この集会を通して、結局問題なのは、SNS の使い方だけでなく、対面のコミュニケーションの大切さなのだということを考える機会となりました。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

由仁町立由仁中学校

いじめ ZERO ミーティング

〈 取組概要 〉



○　生徒会役員が中心となり、年に一度全校生徒を対象にいじめに対するアンケートを実施し、現在の意識調査といじめに対する感度を高めるよう、毎年異なった課題を設定して話合い活動を通しながら学校全体で取り組む活動を行っている。このミーティング後に生徒会役員から年間のスローガンが出され、学級ごとに宣言を作成して一年間いじめのない学級をめざす取組。

〈 具体的な取組内容 〉

1　いじめ ZERO 集会

生徒会役員が中心となって、アンケート調査から、そのときに考える必要がある課題を設定し、全校生徒が同時に、いじめ防止のために同じ課題に取り組む。

2　いじめ ZERO 宣言

いじめ ZERO ミーティングが終わった後に生徒会役員から年間のスローガンが出され、それをもとに、学級ごとに宣言を作成して生徒総会で発表・途中経過の確認。代議員会で一年間取り組んだ成果などを確認して、次のいじめ ZERO ミーティングにつなげる。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

長沼町立長沼中学校

生徒会が主体となって創り上げる「学校生活」

〈 取組概要 〉

○　生徒会執行部が中心となり、一日中明るいあいさつが響きあうように声かけや掲示物を作成する。また、学校の美化活動を企画し、協力しながら清掃を行うことで、学年の枠を越えて多くの生徒とコミュニケーションを図り、ともに長中生としての意識を高める取組を行っている。

〈 具体的な取組内容 〉

1　「オアシス運動」

生徒会執行部がオ「おはようございます。」ア「ありがとうございます。」シ「失礼します。」ス「すみません。」の４つを合言葉に、生活常任委員会と連携してあいさつ運動を行っている。また、職員室入室のルールを掲示する等、生徒がマナーを守り気持ちよく過ごすための啓発活動を行っている。さらに、制服・ジャージの着方や家庭学習についての啓発映像、感染予防の映像を作成している。

2　My School Revolution

生徒会執行部が中心となり、任意参加の美化活動を行っている。個人や、部活動単位で参加し、普段清掃しない場所を学年問わず一緒に清掃し、助け合いの精神を育んでいる。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

栗山町立栗山中学校

生徒会が主体となって取り組む「いじめ撲滅運動」

〈 取組概要 〉

○　生徒会主催の全校集会を実施し、いじめのない学校を目指すために、自分たちができることを考える機会を持つ。

○　旧執行部から新執行部へ思いを伝えることで、いじめを許さない校風を創り上げる。

〈 具体的な取組内容 〉

1　事前に「栗中はどんな学校か」「どんな学校にしていきたいか」「いじめのイメージ」「いじめにつながる行動」について全校生徒からアンケートを募り、テキストマイニングでフレーズを解析・抽出しておく。

2　どさんこ子ども会議に参加した旧執行部から、会議の様子や空知管内の各学校の取組などを全校生徒に報告し、新執行部へいじめ撲滅運動を託す。

3　新執行部はいじめに関するクイズを実施し、そのクイズから、いじめの定義を導き出す。

4　事前アンケートをテキストマイニングで解析したフレーズをもとに、いじめのない学校を目指すために、一人一人が行動できることを話し合う。

5　新執行部が全校生徒の思いを取り入れ、スローガンを決定する。

6　スローガンを日常的・効果的に活用し、全校的な「いじめ撲滅」に向けた行動につなげる。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

栗山町立栗山中学校

異学年交流プログラム「栗中巨大モザイク画制作プロジェクト」

〈 取組概要 〉

○　異学年が交流しながら、１つの作品を制作することで、コミュニケーション能力の向上と所属意識や自尊感情、自己肯定感などの醸成を目指す。

〈 具体的な取組内容 〉

○　儀式的行事の際、体育館ステージ壁面をモザイク画で装飾できるよう、全校生徒で制作する。

○　３年生はリーダーシップを発揮して、制作の手順を考えたり、率先して作業を推進したりすることで、学校への愛着や最上級生としての自尊感情を高める。

○　２年生は先輩の姿から最上級生となる心構えを学び、同時に昨年度の経験を活かして後輩へのサポートを行う。

○　１年生は先輩とのかかわりの中で、１年後、２年後の自分の姿を展望するとともに、栗山中学校の一員として自己有用感を感じる機会とする。

○　制作は全学年混合の小グループで行い、それぞれのグループで制作したものを貼り合わせ、一枚の大きなモザイク画としてステージに展示し、全校生徒で完成を讃え合う。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

新十津川町立新十津川中学校

「Ｂｅ　Ｈａｐｐｙ集会（生徒が主体的に考えるいじめ撲滅集会）」

〈 取組概要 〉

○　生徒会役員が中心となり 10 月 28 日に実施。アンケート調査結果をもとに、他生徒とのよりよい関係について話し合い、今後の学校生活に向けてよりよい環境を自分たちでつくる意識を高める活動としている。生徒が安心できる環境を生徒自身が主体的に考え、その実現に取り組めることを主眼とする。

〈 具体的な取組内容 〉

１　各学級での話し合い内容の発表

各学級代表者から、話し合い内容を全校生徒に向けて発信する。仲間づくりの上で挙がったキーワードがどの学級においても大切であることを再認識させる。

また、今年度はスクールカウンセラーの講話を行い、命の大切さや仲間を思いやる気持ち、よりよい人間関係に向けた一人一人の少しの勇気と言葉、行動について考えさせた。

２　集会内容の振り返り

各学級の課題解決に向けた取組を振り返り、個人内で振り返る場面を設定し、学級担任から学級の取組を再確認した。また、いじめを許さないこと、皆が安心して過ごすことができる雰囲気づくりについて何ができるか、自分ごととして捉えさせた。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

妹背牛町立妹背牛中学校

BIG SMILE～手をとりあって仲良くする～「いじめ撲滅集会」の取組

〈 取組概要 〉

○　生徒会役員が中心となって「いじめ撲滅集会」を実施。
「BIG SMILE　～手をとりあって仲良くする～」
のスローガンのもと、全校生徒でいじめ撲滅を誓いました。

○　小学校児童会と中学校生徒会が連携して「仲間づくり交流会」を実施。それぞれの学校におけるいじめ撲滅のための活動について交流を行う予定です。

〈 具体的な取組内容 〉

1　生徒会の生活専門委員による挨拶運動
毎朝、生活専門委員の生徒が、いじめがなくてみんなが安心して生活できる学校をつくるために、生徒玄関前で登校する生徒に挨拶運動を行いました。

2　生徒会が中心となり、いじめアンケートを行いました。
集計結果を「いじめ撲滅集会」で発表し、一人一人が「いじめは絶対許さない」という強い気持ちを持つことができました。

3　「いじめ撲滅集会」
- 全校生徒を縦割りの小グループに編成。最初にアイスブレイクとして、小グループでの「山手線ゲーム」、その後生徒会からの「全校生徒クイズ」などを行い、気楽に話し合える雰囲気作り、そしてお互いの理解を深めたり、学年を越えた仲間作りを体験したりしました。
- 自分達が回答した「いじめアンケート」の集計結果を見て、いじめのない学校にするために自分達が考えなくてはならないことや自分達にできることを交流し、発表しました。発表は各グループに 1 台のタブレットが配付され、事前に生徒会役員が作成したオリジナルのフォームに入力したものを生徒会側（教師機）におくり、体育館の大型モニターに写しだし、全校生徒で共有する形をとりました。
- 「お互いのことを尊重する」「人に優しくする」「積極的にコミュニケーションをとる」「自分がされて嫌なことをしない」「考えて発言する」「相手のことを理解する」など、いじめをなくすためのたくさんの意見が紹介され、最後に生徒会長からいじめ撲滅に対する強い意気込みが発表されました。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

秩父別町立秩父別中学校

３年　「思春期教室」　赤ちゃんふれあい体験・高齢者施設訪問

〈 取組概要 〉

○　３年生の総合的な学習の時間において、町主催の思春期教室でスポーツセンターや高齢者施設を訪問し、体験的な活動の場を設定しながら、楽しんでもらえるようなプログラムを実施。

　このプログラムを経験して、子どもが地域の多様な人と接することにより、地域の中の自分を実感するとともに、これからの社会の創り手として自分の考えを持ち、その考えを共有して、地域への所属感を感じ取ることができる取組としている。

〈 具体的な取組内容 〉

１　訪問施設と活動内容（当初予定と訪問施設及び内容を変更して実施）

町（保健師） 高齢者擬似体験	グループホーム 認知症サポーター講習	ディサービスセンター 関わり方講習	スポーツセンター 赤ちゃんふれあい体験
車いす等で体験的な場を設定。お年寄り目線から見える世界について考えた。	認知症サポーター講習を実施。認知症について学びを深めた。	高齢化社会の現状説明と高齢者との適切な接し方について講話を実施。	絵本の読み聞かせの実施、保護者・赤ちゃんとの交流。

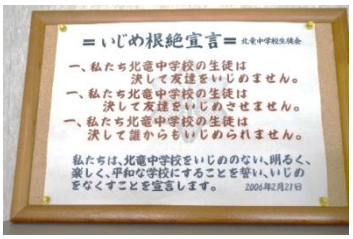
空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

北竜町立北竜中学校

生徒会が主体となって取り組む「いじめ根絶の取組」

〈 取組概要 〉

○　「安心して学校生活を送ることができる、いじめのない明るい学校をつくる」「学校内外からいじめをなくす、いじめを許さないという雰囲気をつくる」をねらいに、生徒会が中心となり、全校生徒で「いじめ根絶集会」の取組を行う。



【各学級に掲示してある『いじめ根絶宣言』】

〈 具体的な取組内容 〉

１　いじめ根絶集会に向けてのいじめ根絶標語の募集

　生徒会が「いじめ根絶に向けての標語」の作成を呼びかけ、全校生徒がいじめ根絶に向けた標語作りに取り組む。

２　いじめ根絶に向けた縦割り班によるグループ討議

　全校生徒を６グループに分け、「いじめかどうか迷う場面」をテーマにしたグループ討議を行うことを通して、いじめ根絶のためにどのような意識をもって生活するべきかを考える。

３　いじめ根絶宣言文の再確認

　４月の対面式で読み上げた「いじめ根絶宣言文」を再確認する。2006 年２月 21 日にいじめ根絶宣言を行い現在に引き継がれている。

【生徒会が企画・運営する『いじめ根絶集会』】

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

沼田町立沼田中学校

「絆づくり」を目的とした生徒会で主体的に実施する取組

〈 取組概要 〉

○　本校では、いじめの根絶を目指し、生徒会を中心に生徒同士による「絆づくり」を目的とした取組を企画・実施しています。全校生徒からの意見も取り入れながら、主体的に生徒会活動を運営することで、学校全体でよりよい学校づくりを目指しています。また、生徒会活動において、ICT の活用を積極的に取り入れています。

〈 具体的な取組内容 〉

1　月１アンケート

この取組は、数年前から続けています。沼田中学校は、学年関係なく仲のよい学校ですが、その陰で困っている人がいるかもしれない、ということも考えられるため、生徒会が中心となり、「月１」アンケートを行っています。実際に困っている人がいた場合には、先生方に相談して早期に解決できるようにしています。今年度からアンケートの実施を、Google Forms を活用し、タブレットで行っているため、回答率も高いです。

2　七タイベント

この取組は、季節のイベントとして、生徒会役員が校内放送で「七タクイズ」を出したり、生徒ホールに苗木を用意したりして、短冊を飾って置くことなど生徒全員が楽しめるイベントを行っています。写真（右）は、七夕のイベントとして、生徒会役員の生徒が短冊を飾って準備をしているところです。

3　まちの環境美化運動

平成 13 年から行っている「沼田のまち美化運動」で、歩道や公園などの身近な公共施設に花を設置する運動に生徒会や吹奏楽部が参加し、地域のまちづくり（環境美化）に貢献しています。今後も生徒会として、地域のボランティア活動に積極的に活動していく予定です。写真（右）はボランティア活動を行っている様子です。

4　今後の新たな取組

生徒会が新体制となり、今後の新たな取組も計画しています。生徒から生徒会活動に対する意見を吸い上げるための「目安箱の設置」、生徒から実施したい企画をアンケートで募集し、実施する「企画アンケート」、そして、先生と生徒の関係性も良好にすることを目的とし、生徒から先生方に対する質問を募集する「質問コーナーin 沼中」などの取組を計画しています。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

岩見沢市立東光中学校

総合的な学習の時間で取り組む地域貢献活動（探究活動）

〈 取組概要 〉

○　２学年が総合的な学習の時間において、地域貢献活動の一環として、岩見沢市駅前商店街活性化計画を探究活動として行っている。駅前商店街の方をゲストティーチャーとして招き、駅前商店街の歴史や現状についての講演を聴き、駅前商店街の現状をフィールドワークしながら調査する。その後、課題別に３～４名のグループを構成し、駅前商店街活性化計画を立て、実際に商店街の人と連携しながら活動していく。

このように駅前商店街活性化に貢献した体験を通して自己肯定感を高めていく。

〈 具体的な取組内容 〉

１　SDGｓの視点を取り入れたたまねぎ販売

規格外となり出荷販売できないたまねぎを農家から無料で仕入れ、１玉１０円で駅前商店街で販売した。

２　たまねぎを購入した方への『おすすめグルメマップ』作成・配付

たまねぎを購入した方にさらに商店街を利用してもらおうと、駅前商店街の飲食店を中心とした『グルメマップ』を作成し、配付した。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

岩見沢市立光陵中学校

生徒会が主体となって取り組む「挨拶運動」
自治活動の活性化をめざして～動画作成・アンケート・募金～

〈 取組概要 〉

○　挨拶で優しさを届けるトモダチ作戦！

朝の挨拶運動をはじめ、過ごしやすい学校づくりをめざして

○　ウクライナ難民支援募金と「みんなでアンケート」の実施

自分の考えを表現する経験を通して自治活動の活性化に繋げよう

〈 具体的な取組内容 〉

１　挨拶促進キャッチフレーズの更新とポスター掲示による啓発活動

「あ」かるく元気に挨拶をしよう

「い」つも明るくしていれば、

「さ」いごは、きっと幸せになる

「つ」くろう最高の岩見沢を

２　自作のプロモーション動画で啓発を図り、全校生徒アンケートの実施

お互いを理解し高め合うにはどうしたらよいのか考える機会の設定

自分には何ができるのかを考えることでいじめ防止につなげる

集まった募金は、国連 UNHCR 協会へ寄付する

争いが起きてしまったら・・・
Q.　自分には何ができる？
いじめ防止にもつなげることもできる
みんなで考えよう！
「鍵」を持っているのは
みなさん
あなたの「真実」を
聞かせてください

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

岩見沢市立緑中学校

「あたたかい心の交流を」～生徒会・各委員会の取組～

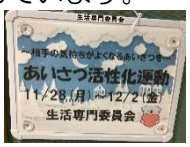
〈 取組概要 〉

○　生徒会役員や各専門委員会では「あたたかい心の交流」に視点を置き、活動を進めています。現在は「心があたたかくなる、言われて嬉しい言葉」を書き出し、掲示する活動を計画中です。

〈 具体的な取組内容 〉

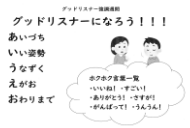
1　「SMAP（あいさつ）活動」～生徒会役員～

生徒会役員が生徒玄関前に立ち、登校する生徒とあいさつを交わす「しっかりみんなであいさつプロジェクト（通称 SMAP 活動）」に感染症拡大防止に努めながら取り組んでいます。



2　「あいさつ活性化運動」～生活専門委員会～

生活専門委員会から「相手の気持ちがよくなるあいさつを」との呼びかけがあり 11/28～12/2 の週を強調週間としています。



3　新しい取組「グッドリスナー強調週間」～議長会～

相手の話をしっかり聞いて思いを受け止め、あたたかい言葉で応える活動です。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

岩見沢市立豊中学校

学校にセーフティーを創る!!　～外部講師を活用した心の教育～

〈 取組概要 〉

○　外部講師をお招きし、ピア・サポートの実践や HyperQ-U テストの活用方法、いじめ根絶に向けた道徳の授業を実施した。

外部講師を活用することで、 子どもの関心や意欲を喚起することや教職員が専門的な知識や技能を習得することができた。

〈 具体的な取組内容 〉

1　ピア・サポート

ピア・サポート・コーディネーター田中佳樹氏による示範授業。ピア・サポートのトレーニングにより、他者への共感性やコミュニケーションスキルを高めるとともに、協働しながら納得解に到達したり、意見の対立を上手に解決したりするスキルを身に付けることにつながった。

2　いじめ根絶　道徳の授業

岩見沢市教育支援センター長兼平晃成氏による授業。被害者が心身に苦痛を感じたら、全て『いじめ』になること、『いじめ』をなくすために学級で取り組むべきこと、つらいと感じたらすぐに相談することを、様々な事例をもとに学んだ。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

岩見沢市立上幌向中学校

生徒会が主体となって取り組む「全校レク」

〈 取組概要 〉

○　コロナ禍が続く中、感染拡大防止のために、生徒は様々な制約のもとに学校生活を過ごしています。本校は全校生徒４５名という小規模校ですが、異学年交流については可能な限り控えていました。そのような状況の中で実施した学校評価アンケートでは、生徒から「異学年交流の機会を増やしてほしい」、「楽しい行事をしてほしい」という要望が出されました。生徒会を中心に、アンケートでの生徒の要望について検討した結果、感染防止対策を十分行った上で「全校レク」に取り組むことにしました。

〈 具体的な取組内容 〉

全校レクは生徒会が企画立案し、昼休みを利用して行うことにしました。内容はドッチボールで、学年縦割りの３グループを編成し、総当たりで対戦することにしました。短い時間ではありますが、生徒は生き生きと楽しそうに活動し、「異学年交流」「楽しい学校生活」という当初の目的を達成することができました。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

岩見沢市立清園中学校

自己有用感を高める道徳科授業の充実～小中合同道徳研修会

〈 取組概要 〉

○　１０月１２日（水）に校区小中合同道徳研修会を実施した。午前中は、講師である山田貞二氏（岐阜聖徳学園大学准教授）による「示範授業」を参観し、生徒のつぶやきや気づきから思考を深める道徳の授業を学んだ。

小中合同道徳研修会では、教師を生徒役に講師による模擬授業を行った。合同研修会終了後には、市内の若手教員による、メンター研修を実施し、道徳の授業づくりへの悩みや疑問を交流し、講師からも授業づくりの助言をいただいた。

〈 具体的な取組内容 〉

１　「示範・再現授業」による道徳科授業のスキル向上

講師の示範授業を参観し、本校教員が同じ授業内容を他のクラスで再現することでスキルアップの向上を図った。

２　模擬授業による道徳科授業の構築

講師の模擬授業を受け、生徒の目線での授業づくりに生かした。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

岩見沢市立明成中学校

「ピア・サポート」を基盤とした明成中の取組

〈 取組概要 〉

○　『ピア・サポートプログラム』を通じて「傾聴・受容・共感」に基づく親和的な集団づくり（お互いを認め合い、高め合う雰囲気づくりと自己肯定感・有用感の高揚）

○　生徒会のリーダーを中心にした「挨拶運動」「Clean の日」に加え、昨年度より「ハンズアップウィーク」を取り入れ、進んで学習に参加する事ができるよう、生徒が主体となって取り組んでいる。

〈 具体的な取組内容 〉

1　ピア・サポートプログラム　傾聴・受容・共感に基づく親和的な集団づくり

- コミュニケーション能力の育成を目指すため、心を表現する手立てとしての取組
- 「明成スタイル」の授業づくりの根幹をなす活動　全教育活動で教員・生徒ともに、この考え方やスキルを活用
- 特設授業として４月に３回、11 月に４回を年間計画に位置付け、４月は、聴き方、話し方などの「学習スキル」と「望ましい人間関係づくり」を学び、11 月は、「いじめ防止学習プログラム」（学級、学年、全校）に学校全体として取り組んだ

４月ピア・サポート	中学１年生	中学２年生	中学３年生
１回目	自己紹介をしよう	エゴグラム	エゴグラム（経年変化も含めて）
２回目	大切なものランキング	トラブル回避の応答	紙面相談
３回目	ステキな聴き方	大切なものランキング（価値を入れ替えて）	一歩通行

11 月ピア・サポート	中学１年生	中学２年生	中学３年生
１回目	一文表現		各学級単位
２回目	５W１H		各学級単位
３回目	５つのステップ		各学年単位
４回目	解決策を考える		全校一斉

2　生徒会役員による生徒玄関、休み時間等の「挨拶運動」、９の付く日の「Clean の日」

- 朝の挨拶運動に加えて、廊下等ですれ違う度に挨拶を交わし、校内中に挨拶の声を響き渡らせる取組
- 毎月９の付く日を「Clean の日」と位置付け、校内美化を強化し、過ごしやすい環境を自分たちの手でつくりだし、思いやりの心を育てる取組
- 「ハンズアップウィーク」を設け、授業中に積極的に発言することを目指して、取組を続けている。取組を通して、「ハンズアップウィーク」に限らず、進んで挙手や発言をする姿が増えた。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

岩見沢市立栗沢中学校

誰一人取り残さないSDGｓ「小中いじめ撲滅集会」

〈 取組概要 〉

○　栗沢小学校５・６年生、栗沢中学校１～３年生の児童・生徒が小学校体育館に集まり、児童会と生徒会の司会進行によって「小中合同いじめ撲滅集会」を実施しました。

〈 具体的な取組内容 〉

１　相手の気持ちを尊重するアンテナと対応に関して考える

①　する側の意図、気持ちを考える。なぜこんなことをしてしまう？言ってしまう？

②　される側、言われる側はどう思う？どうアクションする　or できない？

③　周りにいる立場なら、どう感じる？どうアクションする　or できない？

④　生徒会から栗沢の特徴を提示した上で、今後の目指したい学校全体の集団の姿を提示する

２　みんなが安心した毎日の生活を送るためには何が必要か？を考える

個人で→いくつか先生が意見を拾う→「みんなの意見やアイディアで紙をいっぱいにしておいで」で、全メンバー同学年も異学年も思考を広げるチャンス！

３　認め合い、感謝メッセージ活動

学年別グループで、６人組グループで紙を２分ごとに交換して本人向けメッセージ。

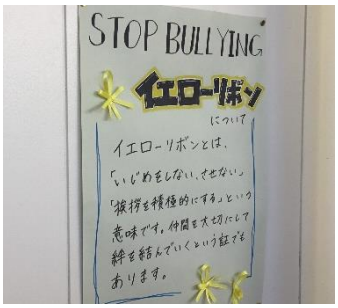
空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

夕張市立夕張中学校

生徒会が主体となって取り組む「いじめSTOP！イエローリボン活動」と「生徒集会」

〈 取組概要 〉

○　生徒会が中心となり、年間を通して、いじめを許さず、仲間を大切にして絆を結んでいく意識を醸成する「いじめSTOP！夕張中学校イエローリボン活動」と「絆づくり集会」に取り組んだ。



【掲示した趣旨説明のポスター】

〈 具体的な取組内容 〉

１　生徒会総会におけるイエローリボン活動の共通理解

生徒会総会において、事務局からイエローリボン活動の趣旨を説明するとともに、活動の趣旨を記載したポスターを校内に掲示することで、生徒一人一人が、いじめは許さない、見逃さない意識を高める。

２　生徒会が主体となった絆づくり生徒集会

生徒会事務局が、学年混成グループで行うゲーム等を行う絆づくり生徒集会を企画し、異学年の生徒が協力してゲームに取り組むことで、他者のよさを知り、仲間意識を高め、生徒同士が円滑な人間関係を築く機会を設定した。

【異学年の生徒で交流している様子】

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

美唄市立美唄中学校

「2023 年度　絆づくりカレンダー」制作

〈 取組概要 〉

○　生徒会が主体となって、「絆づくりカレンダー」を制作し、校内等で活用することで１年間を通して絆づくりを意識することを目的として取り組んでいる。

○　今年度から新執行部の取り組みとして 11 月から準備し、３月の完成を目指す。

〈 具体的な取組内容 〉

1　全校生徒から絆づくりに関する標語を募集し、その中から 12 の標語を選考する。

2　選考した標語に合わせて、カレンダーの挿絵を美術部、生徒会役員、校長先生が作成する。

3　パソコンを使って標語と挿絵とカレンダーを編集する。

4　各学級や校内でカレンダーとして活用する。
また、市内公共施設などにも配付する予定。

※2022 年カレンダー

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

美唄市立東中学校

職場体験学習を中心としたキャリア教育

〈 取組概要 〉

○　職場体験学習（第２学年）
- 10 月に市内企業・官公庁のご協力を得て、市内 18 か所で職場体験学習を実施した。
- 体験後にはレポート作成を行い、発表会を通して交流を行った。

〈 具体的な取組内容 〉

1　事前学習
- 働くことに関する適性判断をし、自ら課題を設定する学習を行った。
- 課題解決に向けたインタビュー内容を考える学習や、マナー学習を実施し、当日の職場体験を迎えた。

2　事後学習
- 単元全体を通して身に付けた、職業観・勤労観をレポート形式でまとめた。
- 各体験場所には、お礼状を書き、レポートを添えて感謝の気持ちを表した。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

芦別市立啓成中学校

学校の諸問題について考える取組、全校レクリエーションの実施

〈 取組概要 〉

○　「よりよい学校生活にするため」をテーマとして、各学級から出された意見を生徒会が取りまとめ、学校全体で取り組む具体的な内容を提示する。

○　生徒会が企画したレクリエーションを通して、人間関係の構築やコミュニケーションの促進を図る。

〈 具体的な取組内容 〉

1　「よりよい学校生活にするため」

①　各学級で、啓成中学校の「よいところをのばす」ための取組や、「課題」を解決するために何が必要かを話し合う。

②　生徒会が、各学級から出された意見をまとめ、学校全体で取り組む内容を決めて、取組内容を校内に掲示し、全校生徒に周知する。

2　全校レクリエーション

①　生徒会がゲームを企画し、体育館で全校生徒が参加する。

②　企画・運営する者、参加する者、それぞれの立場をお互いが理解し合い、コミュニケーションを深める機会とする。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

滝川市立江陵中学校

市内各事業所の協力による「キャリア教育」

〈 取組概要 〉

○　一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促し、自己肯定感を高める。

〈 具体的な取組内容 〉

1　市教委が市内各事業所へ協力要請をし、本校による詳細日程等の調整を経て、２年生が２日間、各６時間程度の体験学習を行った。

2　事前学習として職業観やマナーについて、ハローワーク滝川の職員の方に講演をしていただき、生徒は社会人として職場で留意すべき点を確認した。各事業所での体験内容についてまとめていく過程で、地元の各事業所の方々への感謝の気持ちを持つことができた。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

砂川市立砂川中学校

地域と一体となったキャリア教育（職場体験）の取組

〈 取組概要 〉

○　本校ではキャリア教育の一環として、10月20日（木）に２学年が職場体験を実施した。砂川市教育委員会に協力いただき、体験先を確保した。事業所の方からは、熱心に取り組む生徒の様子を見て、「将来、地域に残って、この仕事に就き、発展させてくれるとうれしいです。」と、子どもたちに期待する声を聞かせていただいた。

〈 具体的な取組内容 〉

1　興味のある職種（医療・教育・販売・金融等）についてアンケートをとり、そのアンケートに基づき体験先を振り分けた。また、礼儀作法について十分指導するとともに、体験先で質問したいことを事前に送付した。

2　当日（一日）の訪問については、事前に指示のあった服装や持ち物で行い、質問の回答については、メモをとることを指導した。

3　事後の学習は、タブレットを活用し、職種ごとに働くことに対する考え方などをまとめ、発表・交流し、それぞれの考えを広げることができた。

4　国語科と連携し、礼状の書き方を学習し、自筆の礼状を体験先に送付した。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

砂川市立石山中学校

生徒会活動『HOT　HEART　ENDLESS』

〈 取組概要 〉生徒が中心となり、全員が行動する

みんなで温かく笑顔のたえない学校を作る取組　２０２２スローガン

謝恩

～思い出をくれた石山中に
笑顔で感謝を伝えよう～

〈 具体的な取組内容 〉R4 年度版

1　生徒会伝統の取組の意義を伝える【日常】

いじめのない学校づくり、絆を深める仲間づくり、あいさつや合唱の取組など、特別なものではなく、いつも日常的に行うもの。この集会の時だけ考えたり行動したりするのではなく、日ごろから意識して取り組もう、というもの。

2　執行部からスローガンの提案

『謝恩』～思い出をくれた石山中に笑顔で感謝を伝えよう～

3　執行部提案を受けた全員活動

「思いやりをもって、皆が笑って過ごせる学校を、皆でつくりあげること」「相手を思いやる気持ちを忘れないこと」を確認し、感謝の気持ちを折り鶴に書き込み、校内に飾る。